

## 「(仮称)南船橋駅前商業施設計画」建築着工 2023年冬開業予定

～賑わいを生む、南船橋エリアの玄関口となるライフスタイル型商業施設が誕生～

### 本リリースのポイント

- ・ JR 南船橋駅前にてライフスタイル型商業施設「(仮称)南船橋駅前商業施設計画」が着工。2023年冬開業予定。
- ・ 「三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY」や現在建設中の「LaLa arena TOKYO-BAY」にも近接し、南船橋エリア全体の魅力向上に貢献。
- ・ スーパーマーケットなど生活利便性の向上に資する約40店舗で構成。約5,000㎡の広場空間も完備。

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長:菰田正信)は、千葉県船橋市にてライフスタイル型商業施設「(仮称)南船橋駅前商業施設計画」を今般建築着工したのでお知らせいたします。なお、開業は2023年冬を予定しています。

本事業は、船橋市が実施した「JR 南船橋駅南口市有地活用事業」の事業者公募において当社が選定されたものです。駅前市有地の高いポテンシャルを活用し、官民連携による開発を推進することにより、臨海部の玄関口としてふさわしい拠点形成を含めた魅力的なまちづくりを実現するとともに、賑わいの創出や回遊性の向上を図ります。

本計画地は JR 京葉線・武蔵野線「南船橋」駅前の利便性の高い立地で、JR 京葉線、武蔵野線、京成電鉄(船橋競馬場駅)の2駅3路線が利用可能です。また三井不動産グループが管理・運営する「三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY」や現在建設中の「LaLa arena TOKYO-BAY」にも近接しており、南船橋エリア全体での回遊や連携を図ることにより、エリア全体の魅力を高めてまいります。

地域居住者の日常の憩いの場となる約5,000㎡もの大規模な広場空間と、デイリーニーズに応じた約40店舗を揃え、コミュニティの拠点として魅力あふれる商業環境を創出し、活気ある街づくりに貢献いたします。また、効率的なエネルギー運転管理等によるCO2排出量の削減など、持続可能な社会の実現にも取り組みます。



外観イメージ(東側より)

## 当施設の主な特長

### <商業機能>

スーパーマーケット、飲食店舗、クリニックモール、ウェルネス関連など生活利便性の高い約 40 店舗を揃え、地域居住者や南船橋駅利用者の方をメインに、幅広い世代のお客さまにお楽しみいただける施設となります。また、屋外各所にコンセプトを持たせた溜まり場や多様な植栽を整備するなど、滞在価値向上のための施策を行っております。

### <地域コミュニティ機能>

当敷地内に約 5,000 ㎡の屋外広場を整備し、地域居住者の憩いの場、また地域連携を図ったイベントを実施できるスペースとします。

### <新たな生活様式に対応する施設計画>

屋外広場の設置、非接触型システムの導入等、新しい生活様式に対応した施設計画を積極的に進めます。

### <ESG 課題解決への寄与>

効率的なエネルギー運転管理や省エネアイテムの導入等により、CO2 排出量の削減をはじめとした ESG 課題の解決に取り組んでまいります。



外観イメージ(西側より)



外観イメージ(北西側より)



広場 鳥瞰イメージ(東側より)

<添付資料①> 「(仮称)南船橋駅前商業施設計画」概要

所在地	千葉県船橋市若松二丁目1番4他
敷地面積	約 16,740 m <sup>2</sup> (約 5,060 坪)
構造規模	鉄骨造地上 2 階建
延床面積	約 11,200 m <sup>2</sup> (約 3,400 坪)
店舗面積	約 8,200 m <sup>2</sup> (約 2,500 坪)
店舗数	約 40 店舗
駐車台数	約 10 台
交通	JR 京葉線「南船橋」駅前
スケジュール	着 工:2022 年 11 月 竣 工 ・ 開 業:2023 年 冬(予定)
設計会社	基 本 設 計:株式会社東急設計コンサルタント 実 施 設 計・監 理:三井住友建設株式会社
施工会社	三井住友建設株式会社
環境デザイン	ハンスケール株式会社 株式会社 E-DESIGN

【建物配置図】



<添付資料②> 位置図

【広域図】



【狭域図】



<添付資料③> 三井不動産のライフスタイルパーク型商業施設(2022年11月時点)



<添付資料④> 三井不動産グループのSDGsへの貢献について

[https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg\\_csr/](https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/)

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

- ・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」  
<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>
- ・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」  
[https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129\\_02/](https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/)



\* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も  
目標 11 住み続けられるまちづくりを  
目標 13 気候変動に具体的な対策を

